

- PHPバージョンアップ作業 (PHP4.X -> PHP5.X) (1)
 - PHPのバージョンアップ (1)
 - Squirrelmailが真っ白！ (1)
 - PukiWikiが正しく表示されない (2)
 - PHPのアクセラレータをインストール (2)
 - 参考サイト (4)

PHPバージョンアップ作業 (PHP4.X -> PHP5.X)

PHPを、PHP4(4.4)からPHP5(5.2)へバージョンアップ。Vineのバージョンアップに備えての作業。

PHPのバージョンアップ

1. まずは、PHP4関係のパッケージを削除。

```
# apt-get remove php php-apache php-pear ...
```

2. 次に、PHP5関係のパッケージをインストール。結果的には、ほぼ全部。

```
# apt-get install php5 php5-apache2 php5-pear ...
```

3. 参考サイトを見て、PHPの設定をする。

```
# vim /etc/php5/php.ini
```

4. Vineのデフォルト状態に、次の設定を追加。

```
session.bug_compat_warn = 0 ; Moodle用の設定
upload_max_filesize = 4M ; アップロードの上限を4MBに
error_reporting = E_ALL & ~E_NOTICE ; 通知以外のすべてのエラーを報告
```

5. 設定を有効にするため、Apacheを再起動。

```
# service apache2 restart
```

6. これで上手くいくはずだったのに、現実は厳しかった（涙）

Squirrelmailが真っ白！

1. あらかじめ、参考サイトを見て、PHP5用に<squirrelmail_root>/functions/imap_general.phpを修正。

```
修正前：fputs ($imap_stream, sqimap_session_id() . " APPEND \ "$sent_folder \ "  
(\ \ Seen) \ {$length} \ r \ n");  
修正後：fputs ($imap_stream, sqimap_session_id() . " APPEND \ "$sent_folder \ "  
(\ \ Seen) "{$length."} \ r \ n");
```

- ところが、Squirrelmailにアクセスすると、画面が真っ白...文字コードの問題かと思って、PHPの設定を変えてもダメ。
- Apacheのログを調べてみると、Squirrelmailで使っている、「bayesspam」という追加プラグインで、DBクラス（DB.phpで定義）が使えていない状態。PEARインストールしているのに...
- よく調べてみると、php5-pearにはDB.phpがない状態。仕方ないので、インストール。

```
# pear install DB
```

- ようやく使える状態になりました。

PukiWikiが正しく表示されない

- 今度は、自分のPukiWikiサイトの表示がおかしい。

- メニューが大部分表示されない（編集とアクセスの記録だけ表示）
- コンテンツ部分が大部分表示されない（日本語部分がダメな感じ）

- 文字コードの問題かと思って、PHPの設定を変えてもダメ。PukiWikiのスキンファイルの文字コードや、他のファイルの文字コードをチェックしてもダメ。泣きそうな気分で、いろいろ情報を調べたけどダメ（涙）
- PukiWikiの公式サイトなどを見ると、どうもPukiWikiのキャッシュ（<wiki_root>/cacheディレクトリ）があやしい。キャッシュを、配布状態にしてみると、正しく表示されるようになった。

```
# mv cache cache.bak  
# cp -a <orig_pukiwiki>/cache .
```

- 数時間たって確認すると、やっぱりダメ。なんじゃこりゃ...
- 原因判明、これだよこれ。文書数の増加による、cache/autolink.dat内の正規表現のパターンの増大化が原因

- <http://pukiwiki.sourceforge.jp/dev/?BugTrack2%2F81>

- Autolink機能をオフに

PHPのアクセラレータをインストール

- eAcceleratorを採用。

- <http://www.eaccelerator.net/>

- 最新版をダウンロード（インストール時点では、0.9.5）
- ダウンロードしたファイルを展開し、展開先のディレクトリへ

4. インストール作業

```
# /usr/bin/phpize
# ./configure --enable-eaccelerator=shared --with-php-config=/usr/bin/php-config
# make
# make install
```

5. 設定変更用のWebインターフェースを設置

```
# mv control.php <適当なディレクトリ>
# vi <適当なディレクトリ>/control.php
```

6. 該当行を変更して、アクセスできるユーザとそのパスワードを変更

```
$user = "admin";
$pw = "eAccelerator";
```

7. キャッシュディレクトリの作成

```
# mkdir /tmp/eaccelerator
# chown apache:apache /tmp/eaccelerator
```

8. PHPの設定を変更

```
# vi /etc/php5/php.ini
```

9. [Zend Optimizer]オプションより前に記述

```
[eAccelerator]
zend_extension = "/usr/lib/php5/eaccelerator.so"
eaccelerator.shm_size = "16"
eaccelerator.cache_dir = "/tmp/eaccelerator"
eaccelerator.allowed_admin_path = "<適当なディレクトリ>/control.php"
eaccelerator.enable = "1"
eaccelerator.optimizer = "1"
eaccelerator.check_mtime = "1"
eaccelerator.debug = "0"
eaccelerator.filter = ""
eaccelerator.shm_max = "0"
eaccelerator.shm_ttl = "0"
eaccelerator.shm_prune_period = "0"
eaccelerator.shm_only = "0"
eaccelerator.compress = "1"
eaccelerator.compress_level = "9"
eaccelerator.keys = "shm_and_disk"
eaccelerator.sessions = "shm_and_disk"
eaccelerator.content = "shm_and_disk"
```

10. Apacheの再起動

```
# service apache2 restart
```

11. おお、結構はやくなった！

参考サイト

- <http://vine.1-max.net/>
- <http://oku.edu.mie-u.ac.jp/~okumura/linux/>
- <http://zapanet.info/blog/item/863/catid/17>